

## 統一協会との関係

統一協会との数々の接点が指摘されている細田博之衆院議長（衆院徳島1区、11期）は、体調不良を理由に任期中の議長退任を表明しました。ところが、地元紙「山陰中央新報」の取材に対し、次期衆院選に出馬する考えを示し、「健康に大きな支障はない。政治家としては元氣そのもの」

## 細田氏、説明せず幕引き？

次期衆院選は出馬意向 責任問われる

などと答えたといいますが、

細田氏は2019年に、協会の韓鶴子総裁が

出席した関連団体の会合で、会の内容を安倍晋三

元首相に「早速報告したい」と発言。安倍氏と協会との深い関係について

「関係の深さを（実感していた）」などと述べています。

細田氏は、協会と自身の接点に関しては文書を2度公表しただけ。自ら

「事実無根」と述べるだけ、公の場での説明は一切していません。公の場で説明を拒否する理由については、「議員や派閥

の言葉で説明することを一切していません。公の場で説明を拒否する理由については、「議員や派閥

の立場で語るのには適当ではない」と主張。議長職を盾に説明責任から逃れ

るといふ、その役職の資

格さえ問われる無責任な

姿勢に終始してきまし

た。昨年5月に『週刊文春』が細田氏からセンハラを受けた複数の女性記者の証言を報じた際も

「事実無根」と述べるだけ、公の場での説明は一切、応じませんでした。

議長の立場だから話せないと逃げ回ってきた細田氏。議長として退任を

表明したいが、説明責任をこれ以上、うやむやに

することは許されませ

ん。自民党全派に復帰する意向であることもふま

えれば、岸田文雄首相にえれば、岸田文雄首相にも党の総裁として責任が問われています。（智）